

保護者 様

一宮市立浅野小学校長
伊藤文代

「令和元年度 学校教育推進のためのアンケート」のお礼と結果について

保護者の皆様方には、本校の教育活動のためにご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、過日、アンケートをお願いいたしましたところ、ご回答をいただきましてありがとうございました。このアンケートは、本年度の本校の教育活動を振り返るとともに、次年度に向けて、より実のある教育活動を展開するための貴重な資料です。

つきましては、アンケート結果を下記のようにまとめましたのでお知らせします。なお、今回の結果につきましては、教職員一同、来年度の学校経営に活かし、教育活動のいっそうの充実を図ってまいりたいと存じます。今後ともよろしく願いいたします。

《アンケート結果のまとめ》

【項目1～6 学校への関心について】

- 全体として、学校への関心が高く、保護者、地域、学校の連携にも高い評価をいただいています。今後とも明確な目標のもと、魅力ある学校づくりに向けていっそう努めます。
- めざす児童像の「よく学び、深く考える子ども」「仲良く助け合う子ども」「心も体もたくましい子ども」の周知は、特に低学年では、まだまだ不十分であり、繰り返し呼び掛けていきます。
- 学校公開・PTA活動などへの保護者の皆様の関心は高く、積極的に参加していただいています。本校の教育活動に深いご理解をいただき、ありがとうございます。子どもたちを育てていくためには、学校だけでなく家庭や地域の皆様の協力が不可欠です。次年度も学校・家庭・地域の連携を密にしながら、教育活動の内容の充実や手だて・方法の工夫に努めます。

【項目7～12 本校の姿勢・対応について】

- 悩みや困ったことを先生に相談できない児童もまだまだ多数いるという評価でした。皆様の期待に十分応えていないことを真摯に受け止め、児童はもちろんのこと保護者・地域の皆様の声にもいっそう耳を傾け、寄り添いながら親身な対応に努めていきます。また、来年度は子どもたち同士、子どもと教師等のよりよい人間関係づくりにいっそう尽力していきます。
- 項目12は、不審者侵入の防止及び早期発見のための対策について、本校の施設・設備の整備の実情をふまえ、警察との連携を深め、校内における被害防止に向けての体制づくりのさらなる改善に努めます。

【項目13～21 学習・体力面について】

- 基本的な学習マナーや基礎・基本的な学力の定着が昨年度より向上しているという評価でした。今後も、子どもたちの学ぶ楽しさと学ぶ意欲を引き出し、それを踏まえ、学習の基礎・基本の定着が図れるよう、学習指導のさらなる充実を努めます。また、教師も新学習指導要領改訂に対応しながら、よりわかりやす授業を行えるよう研修、研鑽に努めます。
- 家庭学習の習慣化については9割近くの値を示しており、保護者の方のご協力に感謝しております。
- 読書については、学校図書館運営システムや保護者ボランティアの方の「読み聞かせ」など活動が充実してきていますが、読書好きの児童の増加には努力が必要との判断を今年もいただきました。今後は、学校や家庭での読書の習慣づくりを図り、本を読む楽しさを味わわせる機会を工夫していきたいと考えています。児童が家庭学習や読書について、目的意識をもって意欲的に取り組めるよう、ご家庭のご理解やご協力を得ながら指導してまいります。
- 運動会や展覧会などの学校行事は子どもたちの成長に役立つという評価をいただきました。特に、運動会は熱中症などの健康面や安全面に配慮しながら、子どもたちが目標をもち、積極的に取り組めるような手だて・方法の工夫に努めていきます。
- 本年度より英語活動についての項目を設けました。楽しく活動ができていると「思う」「どちらかといえば思う」は86%でした。今後も子どもたちが楽しく英語を学び、英語のスキルやコミュニケーションへの関心・意欲・態度が養えるよう努力していきます。

【項目22～30 生活・安全面について】

- 各家庭や地域の方々に、日々ご理解・ご協力をいただいているおかげで、「どちらかといえば」を含めれば90%に及ぶ方が、基本的な生活習慣、公德心が身につけてきていると認識しています。特に「あいさつ」については、児童朝礼や集会での指導、児童会の「あいさつ運動」などを実施してきました。今後もあいさつの励行、日常生活におけるマナーやルールの遵守などを最重要課題と捉え、家庭・地域・学校が緊密に連携する中で、児童の豊かな心を育てていきたいと思えます。
- 大規模地震に備え、家庭での話し合いは8割を切っており、年々割合が下がってきています。日常生活における安全対策については、防犯ブザーやホイッスルの携帯、自転車利用時のヘルメットの着用など、安全面の意識を高めていかなければと考えています。学校・家庭・地域が一体となって、児童の安全確保に努め啓発活動をいっそう推進します。